

NO.6 瓦版
寿会・湘南支部

湘南支部のモットー
気楽に・のんびり・楽しく

2020年10月1日

新型コロナの終息がなかなか見えない中大変ストレスを感じられていると思います。一方、最近ではコロナ関連のテレビでの話題も少なくなり、GoTo キャンペーンと合わせて人出もかなり多くなってきていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年度の湘南支部活動も中止せざるを得ない状況が続いてさみしい限りですが、久々のイベントとして12月8日(火)のミカン狩りを予定通り開催したいと考えております。まだまだ安心できる状況にありませんが、屋外活動という事と3密の程度も低いということで是非実施したいと考えております。

電車での外出を伴いますので多少の不安はあるかと思いますが、ご無理のない範囲でご参加いただければと存じます。詳細は後述の“みかん狩りのご案内”を参照ください。

なを、来年1月15日(金)予定の“初詣・新年会”は、屋内で3密となるため安全・安心の観点から誠に残念ですが中止とさせていただきます。

どうぞ皆様これからも十分お気をつけてお過ごしください。

～イベントのご案内～

みかん狩りのご案内



暖かくして
いらして下さい

日時：2020年12月8日(火曜日)

集合：JR早川駅改札口 10時10分 (10:07 着電車あり)

～遅れた場合は、下記世話係へ連絡下さい～

会費：500円

昼食：みかん園にて小懇親会 (軽く飲み物、昼食の用意します)

コース：早川駅→50分→山口みかん園(ミカン狩り&昼食)60分→50分早川駅

急な坂もありますが、皆様と語りながらゆっくり歩いて参ります。

又、みかん園の山口氏に車で待機して頂いていますので、歩くのに不安の方も安心してご参加下さい！

～ みかんは食べ放題 みかんの購入、配送も可能です(1Kg 200円) ～

参加連絡：景山 康二 Tel:090-1054-3100 or 0466-36-9228

Mail:koji_k194812@jcom.home.ne.jp

世話係：・浜田 正義 Eメール:mhamada@jcom.home.ne.jp 携帯:080-1154-7474

・伊藤恵美子 Eメール:emiko2395@amail.plala.or.jp 携帯:090-5216-8496

申し込み締め切り：11月20日迄

*前日のNHK18:52の天気予報で横浜の予報が7:00～15:00まで雨の場合は中止します。

コロナ禍で一段と過ごしにくかった夏も終わり、自然の秋風が心地よく感じられるこの頃です。持病のある高齢者の私は、コロナウィルスの治療薬やワクチンがないので、感染すると重篤になる危険性があり GO TO トラベルとか GO TO イートと掛け声をかけられても気軽に出かけer気分になりにくい状況です。

そんなわけで今年は予定していた国内の諸活動や旅行も行けず、まして海外旅行は全くメドが立たなくなりました。尤も必要があれば、国内も海外もパソコンやラインやチャットで、無料で簡単に連絡できるので、こちらからも先方からもいろいろな連絡は必要に応じて行っています。

今回は、コロナ禍で習得したテレビ会議システム ZOOM のことを説明して意思の疎通方法の進化に触れてみます。

大連に赴任していた時に親しくなった東京近郊に住む年齢の近い人達を中心に、現役時代、中国に赴任や仕事で関係の深かった 15 人で新宿の大学の研究室をかりてもう六年になりますが、隔月で中国に関する多面的な研究会活動を行っています。三密を避けるために集まれなくなってからは毎月 ZOOM で、自宅に居ながらパソコン画面で、事前にテーマと中心論者を決めて、発表、討議を進めています。ZOOM は既に寿会会員の中にも使用されている方も居られると思います。普通の会議と同様、発表者は自分で作成したパワーポイントの資料を、ページを送りながら、説明します。

私が北京 JVC 赴任時代の末期、2003 年後半からビクターAVM カンパニーと北京 JVC と上海 JVC を繋いだ TV 会議が可能になりましたが、なかなか使いこなせなく途中で音声・画像が切れたりすることも有りましたが、ZOOM は大きく前進をしています。

更に研究会の有志 10 人で千葉の大学ゼミ四年生の卒論のアドバイスを六月から行っています。最初に主任教官と学生と指導する我々と ZOOM を使用して、21 名が一堂に会する如く自己紹介や指導の趣旨など話し合いました。中国人留学生の中に、春節で一月末に中国に一時帰国したまま、来日できない学生も居ましたが、全く問題なく中国の自宅のパソコンを利用して全員参加しました。その後は主任教官と学生とアドバイザー三人で、一堂に会するような感じで必要に応じ ZOOM を通じて意思の疎通をしています。勿論、本当に一堂に会しているわけではないので、三人以上の場合、話が進んでいるとき、横から話しかけるのは、タイミングが難しい面はありますし、同じところに居れば肌で感じる雰囲気は中々伝わりにくいと思います。更に本当に集まる訳ではないので終わった後に、新宿界隈で行っていたお酒と小料理のある懇親会は出来ません。満足度から言うと「イマイチ」ですが、これで三密を避けられ遠距離も克服できるのですから、たいした道具だと思います。

ZOOM についてご関心の有る方は、Net 検索で「ZOOM」と入力されると詳しい説明があります。説明の殆どが今年の春から夏にかけて、ほんの最近に登録されており、ZOOM システムの新しさが分かります。コロナ禍で遠隔会議や遠隔講義等、活用され一躍注目を集めている ZOOM はアメリカに本社があり、開発は中国で行うようです。中国山東省出身の人(現在は米国に帰化)が開発したものです。 記述 中谷泰治



主要取引先の事務棟・工場全体図

東西文明交流の十字路
中央アジア・ウズベキスタン見聞録
2013年4月19日～26日

2020年9月17日(木)
〇〇〇〇
於 現代中国研究会 (Zoom meeting)

心臓弁膜症の手術を終えて

八木 関三

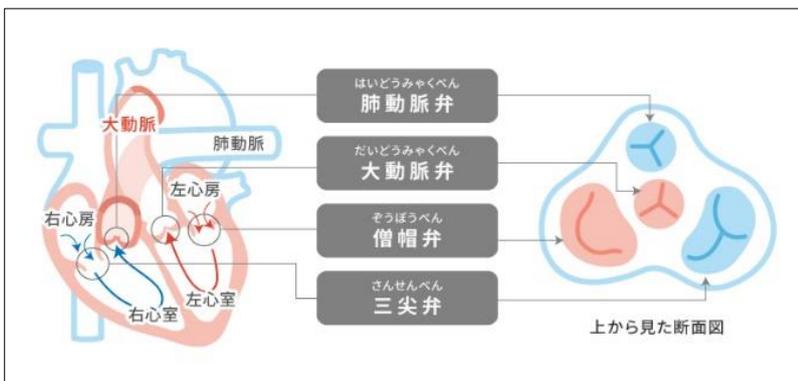


私がかつて住んでいた多摩地区の JVC 仲間との街道歩きは、「甲州街道、東海道、大山街道、鎌倉街道」と8年にわたり続けることができ、1日4～5時間の行程は苦にもせず歩けることを自分の健康の証だと思っていた。そんな私が心臓の異変を思い知らされたのは横浜に転居して4年目の2019年秋のことだった。自宅近くのゆるやかな登り坂を歩いただけで心臓がドキドキし、ハアハアとなる息切れを感じたのである。

八王子研修センターに勤務していた50代の時、思いもしなかった心臓弁膜症の診断をうけ、動きが悪くなった僧帽弁の根元を縫いあげる形成手術を受けていたが、今回はかかりつけ主治医の勧めで心臓病専門の川崎幸病院を受診することになった。そこは心臓や大動脈、脳血管などの専門医が揃っており、神奈川県内の医師から紹介をうけた患者がひっきりなしに訪れる病院で、「心臓病センター」としての評価が高かった。

2020年4月、私はその病院に4日間入院して精密検査を受けた。心臓を取り巻く血管がどういう状態かを管を挿入しての観察、心臓の動きを映像で精細に映し出す心エコー、さらに心臓の裏側に位置する胃の中にカメラを挿入して心臓の背面を撮影するなど、細部にわたる検査を受けた。診断結果は「弱まった僧帽弁を人工弁に置換し」同時に「三尖弁を形成する手術」をしないと「余命は3年」との宣告を受けた。

予想していたこととはいえ、かなり動揺したのは偽らざる心境で、私はたいそう落ち込んでしまった。私は2019年初めからは寿会湘南支部の役員として会計業務を引き受けていただけに、仲間の皆さんに迷惑をかけることになるという危惧もあって、とても悩ましいことであった。



川崎幸病院

検査結果を踏まえて医師からは5月の手術を提案されたが、時はコロナの真ただ中で全国各地での院内感染も報道されていただけに、私はズルズルと先延ばししていた。6月に入ると東京・神奈川もコロナは少し収まりかけたかに見えたので手術を決意した。医師から手術は7月7日と言われて、「七夕さんなら縁起がいいかも」と自分勝手な解釈をしたものだった。入院生活は長くなるかもしれないと覚悟して、準備を整え家内と病院に向かったのは7月3日。家族は玄関から先へは入れず私ひとりで8階の病棟受付にいき、案内された自分のベッドに横たわったが、なんとも落ち着かなかったことを憶えている。

8階は心臓の手術を要する患者専用の南フロアと循環器内科の北フロアに分かれており、私の南フロアには6人部屋が7室、2人室～個室が5室余りで患者は南側だけでも50人ほどが治療を受けていた。もちろん私は差額ベッド料のかからない6人部屋だ。

同室者をそれとなく観察すると、60～70代の方が私を含めて4人で、40代、50代が1人ずつだ。手術を終えて予後の治療をしている人と、私のようにこれから手術に臨む人が半数ずついた。患者はカーテンで区切られたベッドに寝ているが、看護師が採血や血圧測定で訪れたり、それぞれの担当医が患者に状況を説明に来たり、あるいは専任トレーナーがやってきてリハビリに連れ出すときなどに聞こえてくる会話から、患者たちはその年齢や環境から生じる様々な苦勞を重ねているものなのだなー、としみじみ感じた。

病棟での1日は、朝6時前に看護師がやってきて採血することから始まる。1時間ほどウトウトしていると看護助手が「お食事ですよー」と声を掛けながら朝食を運んでくる。食後に朝の薬を飲み終わると、廊下を数往復して足の筋肉をならしたり、リハビリコーナーで自転車こぎの指導をうけたり、トイレにいったりと結構忙しいものだ。

入院し手術までの3日間は、日頃服用しているワーファリン(血液の凝固＝血栓を予防する薬)をやめ、手術の際の多量出血を防ぐための点滴を受けて身体を順応させた。

手術当日の朝9時にオペ室に入ると医師数名と麻酔科医に迎えられ、私は手術台の上に横になった。麻酔を打たれた後は夢の中だ。いや、夢など見ない完全なる昏睡状態だった。

覚醒したのは翌朝であった。集中治療室のベッドに横たわり、顔には酸素マスク、腹部には手術の際に注入した治療液を体外に排出するためのチューブが3本挿入され、液体がベッド脇の専用タンクに移っていく様をおぼろげな意識で眺めていた。私はそのとき初めて「あー、こちら側(此の世)へ戻ってくることができたのだ！」と大いに安堵した。

集中治療室は広いスペースに手術直後の患者8名がいて、10人ほどの看護師が昼夜を問わず患者の状態に応じた手厚い看護に専念していた。私自身は切開した胸骨の接合部が痛み、それに耐えるのに必死でここでの3日間のことはよく覚えていない。それでも2日目からはおかゆの食事が出されて何とか半分は食べれたし、リハビリ指導員の手助けを受けながらベッドから降り、ほんの数歩ではあるが床を歩ける自分自身に驚いた。

手術から4日目、一般病棟への「帰還」が認められた。そこでは手術直後の患者はナースステーションの目の前の病室に入ることが決まりである。それはいうまでもなく、緊急事態の発生に備えるためである。8階の南ナースステーションには看護師が30名、助手が10名ほどいて、日勤・夜勤・休日組に分かれて勤務している。私はそれを見て鶴ヶ峰工場へ赴任した当時、同様のシフトでドラム等を加工生産していたことを思い出した。

ところでひと昔前、看護婦さんは女性だけだったが今は違う。年齢は(私の推定だが)看護学校卒業したての初々しい人からベテランさんまで幅は広く、また4分の1は男性である。よって看護婦とは言わず看護師と言う。重症患者のベッド移し替えに際しては男性看護師が大いに戦力となっているし、ダダをこねる患者にはママさん看護師が子供をあやすかのように言って上手に収めるなど、役割分担がうまく発揮されている。

私のベッドには日中の担当、夜間の担当の看護師さん達が入れ替わりでやってきて何くれとなく面倒を見てくれる。患者に対して優しい人もいれば、少しおっかない人もいる。普通なら「やってられない!」と思う汚れ仕事も一生懸命にやってくれるし、どの看護師さんも患者の事を思って雑多な仕事に取り組んでいる姿勢には「看護師道」への心意気を感じた。そうした中で、私自身は「社会復帰への早期実現」を目ざして、ほんの小さなことでも彼・彼女らに言葉をかけるようにしていたし、笑顔の素敵で数人の看護婦さんとは冗談を交わすことも度々だった。この声掛け運動の努力の成果であろうか、医師からは「あなたは年齢の割には切開部の回復も、意欲もとても良好ですね。」とお褒めにあずかり、70代では退院に1か月はかかるところを3週間余で娑婆に戻ることができた。

退院後の今は定期的に病院へ出向き、いくつかの検査と医師の診察を受け、療養に専念している。やがては病院の手を離れてかかりつけ医の指導のもとで生活することになる。手術前に心細くしていた私をいたわり続けてくれた妻、あるいは励ましてくれた長女の家族、また遠く京都に住む次女夫婦は(コロナで見舞いに来れない中で)スマホのリモート画面を使って孫達の可愛い笑顔を見せて元気づけてくれた。更には私の命を救ってくれた医師団や、明るく接してサポートしてくれた看護師さんたちに深く感謝している。

今ではちょっとした坂道なら私の心臓は平穏を保っている。延命されたこれから先の人生をどのように生きるか、何をして楽しむかはいま思案中である。

ご 参 考

～医療費について～

- ① 私達の医療費負担額は、国民健康保険あるいは後期高齢者医療保険制度に定められているが、かなり高額の場合でも1ヶ月間の負担額は標準的な年金受給者で57,600円である(食費は別途必要)。私が退院時に支払ったのもこの金額だった。では手術及び入院治療の総額はいくらか明細を見ると総点数57万点・・・すなわち実額では570万円であり1割負担でも57万円になる。まさに高額療養費制度に助けられたことを実感した。
- ② この制度における金額算定は1ヶ月ごとであり、手術の時期を選べるのであれば「月初に手術～月末までに退院する」のがベターである。もし「6月下旬に手術～7月中に退院」の場合、自己負担額は両月とも必要で57,600円の2倍になる。したがって緊急でない場合は手術から退院までのタイミングをうまく判断することが大切である。

訃報報告 (2020年4月～9月)

	支部名	ご命日	享年
三宅 久智	九州	02.04.17	99
大角 基生	東京	02.04.29	96
土居 修治	横浜中央	02.08.16	79
中村 純一	静岡	02.08.20	75
小濱 嘉人	埼玉・栃木	02.08.26	72
塚原 義弘	関西	02.09.05	85
星名 嶺輝	千葉	02.09.11	86

謹んで皆様のご冥福をお祈り申し上げます

嚥下機能の
チェックと予防

- よくムせる
- 滑舌が悪くなってきた(「えっ?」とよく聞き返される)
- 唾液でむせる
- 口元がダランとたれ下がってきた
- 口が渇く
- よく食べこぼす

以上の事項の当てはまる方は次の運動を!



～編集後記～ 今年の夏の暑さは異常で、各地で最高気温を更新しました。しかしその後、急に秋が訪れ、虫たちも驚いたのか啼き声をあまり聴いていません。皆様はいかがでしょう。あまり秋の風情を感じることができませんでしたが、しかし、寒暖の差が大きいほど紅葉は美しく、果実も甘くなりとのこと。そんな甘い果物と紅葉を愛でて秋を味わいたいと思います。

発行日:2020年 10月1日
 発行人:景山康二
 編集:伊藤恵美子
 発行:日本ビクター 湘南支部
 (現在の会員数:73名)